

「院内集会」に国会議員6名・区議8名が激励に参加 請願書6030筆を携え、各会派に託し成功裡に集会を終える!

民主・共産・みんな・社民の衆参議員と 江戸川区議・弁護団が陳情団を応援に!

11月10日(木)午前10時より、堀達雄氏(スーパー堤防問題を考える協議会座長)、北小岩地区の戸口素男運営委員長(スーパー堤防・街づくりを考える会)をはじめ3つの会の代表や事務局長が、永田町の衆議院第二議員会館に集まり、皆さんからお預かりした請願書6030筆の署名を、民主党、日本共産党、みんなの党、社民党など、紹介議員になっていただけた衆参議員の事務所を回り、請願書を手渡ししながら協力の要請をしました。

午後1時から、第1集会所で第2回目の「不要な公共事業/スーパー堤防構想の撤回を求める院内集会」を開きました。堀座長の司会で戸口運営委員長が基調報告を行ない、会の渡邊拓美氏がスライドでスーパー堤防の矛盾と問題点を指摘した後、18班、篠崎の代表が、区行政の非人道的な住民追い出しの実態を告発し、参加者に訴えました。弁護団の経過報告の後、質疑、取材そして集会アピールを採択して午後3時半に集会は大きな成果を納めて閉会しました。

この集会には衆参の国会議員6名(大河原雅子参院議員、初鹿明博衆院議員、民主、笠井亮衆院議員、田村智子参院議員、共産、柿沢未途衆院議員、みんな、服部良一衆院議員、社民)が参加、激励と撤回の決意を述べました。また、江戸川区議会議員も8名(共産党4人、ネット2人、民主、みんな各1名)が参加、各会派代表が決意を示してくれました。

なお、この日はマスコミ5社も取材、TBSテレビの「噂の東京マガジン」が追っかけ取材をしていて、11月28日(日)午後1時より放映される予定です。



院内集会風景
右側は北小岩・18班・篠崎3つの会の代表



参加者に行政の暴挙を説明する篠崎地区の渡邊清明世話人代表



行政の不当性を明らかにしながら全面的に協力を訴える東京東部法律事務所の弁護団



請願書を議員秘書に託す戸口運営委員長(衆議院第二議員会館にて)



初鹿明博衆院議員(民主)の激励挨拶



笠井亮衆院議員(共産)と右に田村智子参院議員(共産)、その左は大河原雅子参院議員(民主)



柿沢未途衆院議員(みんなの党)
正面左は弁護団、手前は江戸川区議の方々



右側は国会議員と秘書、左側はマスコミ席
正面右は服部良一衆院議員(社民)